

令和4年度 第3回学校運営協議会 定時制部会 要旨

日時 令和5年2月14日(木) 18時～ 大会議室

学校運営協議会委員 (順不同 敬称略)

- 富田 昇 (東大阪大学短期大学部 教授)
- 味岡 知行 (味岡刃物製作所 代表 伝統工芸士)
- 奥野 浩史 (奥野晴明堂 代表取締役社長 伝統工芸士)
- 丸井 理恵 (堺市立旭中学校 校長)
- 山本 達也 (人権擁護士)
- 村上 千春 (保護者 代表)

1 准校長挨拶 (平野 准校長)

2 令和4年度 学校評価について (審議事項) (平野 准校長)

昨年12月にアンケート形式で実施した学校教育自己診断では、生徒、保護者、教員からおおむね高い評価を受けている。複数の項目で昨年度よりも高い評価を受けている。

3 令和5年度 学校経営計画について (審議事項) (平野 准校長)

今年度受けた、一定の高い評価を基に来年度の学校経営計画を作成している。

「めざす学校像」と「中期的目標」については、来年度も引き続き同じ内容で、生徒を育みたいと考えている。ただ、これからもう少し取り組まないといけない項目は、それに応じた目標設定にしている。

※令和4年度学校評価と令和5年度学校経営計画について、承認。

4 本校の取り組みについて (各分掌長)

①教務部 (古川教諭)

生徒在籍状況について報告。例年に比べ、退学、転学者数が少なくなっている。

令和5年度入試 第2回進路希望調査の結果について説明。

②生活指導部 (田中教頭)

生徒の現状について報告。

給食の喫食状況等について報告。1月の生徒の喫食率は約47%。

③進路指導部 (保田教諭)

生徒の就職、進学結果について報告。就職、進学とも希望者全員の進路を実現した。

④生徒会活動部（田中教頭）

球技大会、後期生徒総会及び生徒会役員選挙について報告。

部活動について、今年度の大会実績や来年度の活動目標を説明。

⑤支援教育委員会（古池教諭）

今年度の支援教育活動について報告。

⑥その他（保田教諭）

東北での災害ボランティア活動、地域連携事業、大学での講演依頼等について報告。

（委員のご意見）

- 学校評価においては、多岐の項目にわたって自己診断をされており、生徒・教師・保護者から肯定的な評価を受けていると感じる。次年度も同じように取り組んでいただければよいと思います。
- 堺工科高校定時制はボランティア活動が熱心であると思う。ボランティアをすることによって、自己肯定感が高まっている。生徒にとって、よりよい学生生活になるだけでなく、社会への展望も拓けてくると思うので、今後も継続してほしい。
- 堺工科高校定時制の魅力や取り組みをもっとPRし、退学等で進路について困っている生徒の選択肢の一つとなれるように頑張してほしい。
- 高校と中学校の連携を深めたい。定時制の取り組みを中学校の教員が学ぶ機会をつくれるとよい。
- 「生きていく力」を教育現場でどうやって身につけていくかが一番大切だと思う。職業体験等を通じて、人を必要とする現場と学校の教育現場との結びつきをつくっていくことが課題だと思う。
- 先生方からの話を聞いて、アピールポイントのある学校だと感じました。ここには、生徒の自己肯定感を高める機会がある。一人でも多くの生徒にスポットライトが当たるような教育をこれからもお願いしたいと思います。

以上